

自動開閉チャンバー

サンプリング装置 AGSS

可搬型温室効果ガス自動採取装置

AGSS

アグス

これまで主流だった手動のサンプリング法では、チャンバーの設置やガスのサンプリングなど一連の作業をすべて人力で行うため、多大な労力がかかっていました。



手動のサンプリング風景

荒天下でも
楽々
自動サンプリング
加えて、作業時間も
1/10以下に
短縮



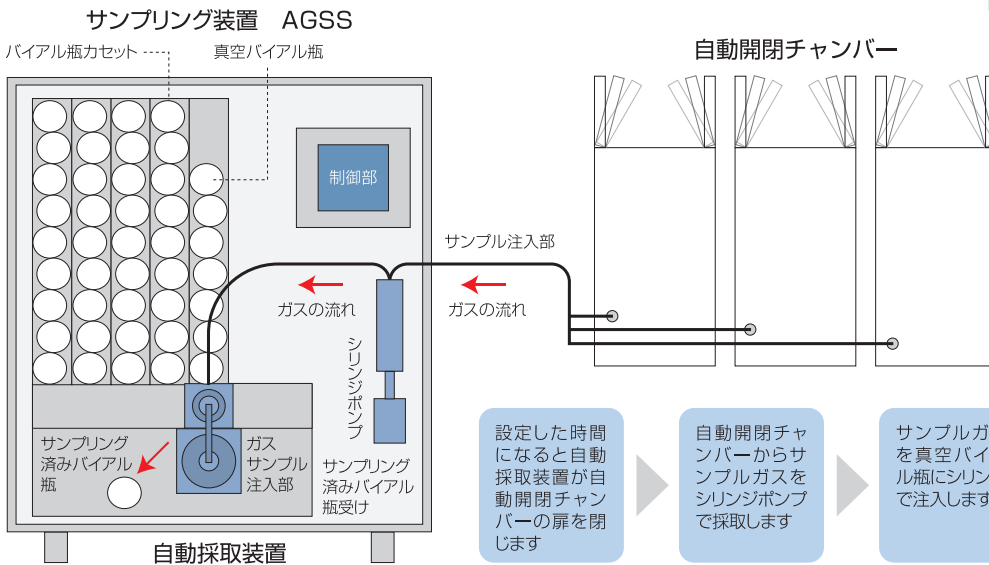
可搬型自動サンプリング装置

- 設定時刻に自動的にサンプリングを行う装置の開発により、大幅に効率化しました。手動サンプリングと比較した必要時間は1/10以下になります。
- 装置は自動開閉チャンバーと組み合わせて使用します。

- 温室効果ガスを完全自動で長期連続採取
- 野外のサンプリングサイトに設置できる可搬型
- 設定した時間に任意の頻度で自動で採取
- 農業分野以外でも応用可能

農耕地土壌からは温室効果ガスであるメタン(CH₄)や亜酸化窒素(N₂O)が発生しています。地球全体のCH₄の人為的発生源のうち、水田由来のものが10~25%程度になると推測されています。また、地球全体のN₂Oの人為的発生源のうち、施肥土壌や家畜排泄物など農業由来のものが約40%を占めると推定されています。自動採取装置アグスを水田や畑などの農耕地に設置し、長期間・高頻度のサンプリング測定を行うことで、これらのガスの発生実態の把握と削減技術の開発に役立てて頂くことができます。

農耕地土壌から発生する温室効果ガスを自動サンプリング



AGSS 1台で
自動開閉チャンバー
3台まで制御!

設定した時間になると自動採取装置が自動開閉チャンバーの扉を閉じます

自動開閉チャンバーからサンプルガスをシリンジポンプで採取します

サンプルガスを真空バイアル瓶にシリンジで注入します

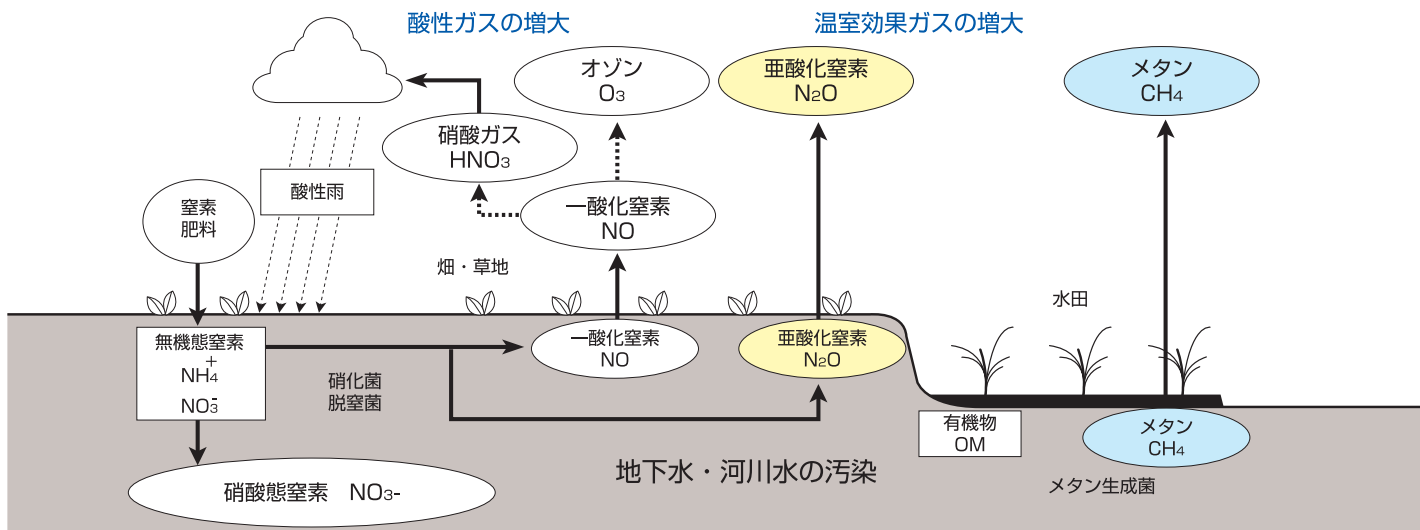
サンプリング済みのバイアル瓶は注入部下のトレーに放出されます

サンプリング済みのバイアル瓶を定期的に分

空気圧シリンダを使用しているため、供給圧0.5MPaの圧縮空気が必要です。コンプレッサーまたは空気ポンプの準備についてはご相談下さい。自動開閉チャンバーは最適なものをアドバイスいたします。

農耕地における温室効果ガスの発生

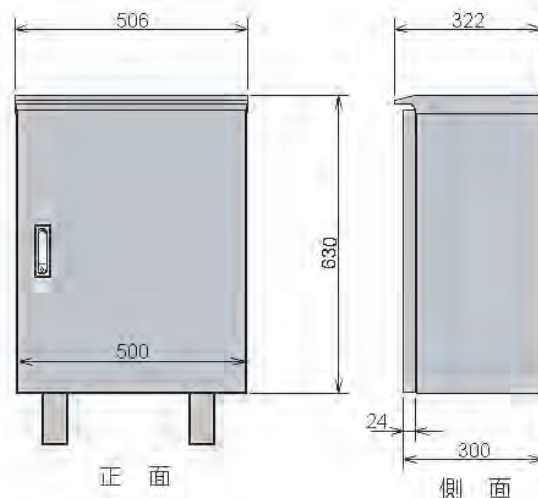
農耕地土壌からは温室効果ガスであるメタン (CH₄) や亜酸化窒素 (N₂O) が発生しており、削減する必要に迫られています。ガス発生の実態と削減技術の開発には、水田や畑での長期・高頻度のサンプリングが必要です。そこで農耕地から発生する温室効果ガスを自動的にサンプリングする可搬型の装置を開発しました。



AGSS本体



開放時AGSS



正面

側面

装置仕様	外寸	506mm×630mm×322mm (遮光板を含まない)
	重量	約40kg
	電源	AC100V 50/60Hz
	能力	バイアル瓶装填60本

※製品写真は遮光板(オプション)が取り付けられたタイプです。



温室効果ガス3成分同時自動分析機
(独立行政法人 農業環境技術研究所)

AGSSで採取されたバイアル瓶試料は、独立行政法人農業環境技術研究所の温室効果ガス3成分同時自動分析機にて分析するのに最適です。

独立行政法人農業環境技術研究所
特許番号：4406694号



グリーンブルー株式会社

横浜本社

〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-14-12
TEL:045-322-1011 FAX:045-322-3133

茨城技術センター

〒312-0023 茨城県ひたちなか市大平1-18-12
TEL:029-275-0911 FAX:029-275-0904

東京本社

〒144-0033 東京都大田区東糀谷5-4-11
TEL:03-3745-1411 FAX:03-3745-1413

福島営業所

〒979-0141 福島県いわき市勿来町窪田外城27
TEL/FAX:0246-65-5210

<http://www.greenblue.co.jp>
e-mail : sales@greenblue.co.jp



※装置の仕様は予告なく変更することが御座いますので、ご了承ください。